



グローバルビジネスコース（GBC）レポート第2号

令和3年7月

令和3年4月に開設から3年目を迎えたGBCでは日本人学生49名が入学し、留学生（9月入学生）が居住する国際学生寮で新たな生活をスタートさせました。昨年度に引き続いて新型コロナウイルス感染拡大の懸念により、兵庫県では緊急事態宣言が発令され、その期間中、大学での授業は対面からオンラインへと切り替わりました。大学では、昨年度に構築したオンライン授業のノウハウを活用しつつ、より質の高い教育を学生に提供するべく、全力を尽くしています。

また、本学GBCは今年度より文部科学省の「国費外国人留学生の優先配置を行う特別プログラム」に採択され、令和3年9月入学生8名が対象となります（以後令和5年度まで各年8名）。同制度は、日本への優秀な外国人留学生の受け入れを進めるために文部科学省が実施している制度で、採択された10大学のうち、本学は唯一の公立大学です。

GBC留学生の概要

国・地域	2019年9月入学			2020年9月入学		
	在籍者数	男女構成		在籍者数	男女構成	
		男性	女性		男性	女性
バングラデシュ	2	2				
ブータン	1	1				
中国	1		1	2	1	1
インド	1		1	1	1	
インドネシア	7	2	5	6	3	3
マレーシア				3		3
パキスタン				2	2	
フィリピン				1	1	
ルーマニア	2	1	1	1	1	
タイ	14	7	7	4	1	3
トルコ	1	1				
ベトナム	6	4	2	5	3	2
ザンビア				1	1	
台湾	5	1	4	4	1	3
計	40	19	21	30	15	15

※令和3年3月から変更はありません。

GBC学生の動向

1 留学生の授業に関して：集中講義「日本文化体験プログラム」

令和3年度前期の日本文化体験プログラムでは、留学生2年次生は農業、観光など地域発展を目的とする兵庫県・神戸市の施策と、その具体的な取り組みについて学んでいます。

留学生が卒業後、本プログラムを通じて得られた知見を自国での多岐にわたる課題を解決する際の一助として活用し、国際貢献につなげることを目指しています。

今期は、本プログラムに協力をしていただいている神戸市及び企業の代表者との交流や意見交換をする機会が得られています。留学生は、自身の経験から神戸市の観光施策への様々な提言を行い、今後、その内容は同市の観光行政向上のための検討材料となる予定です。また、プログラム終盤では、神戸市と神戸ワイナリーに対して、マーケティング戦略の提案を行います。

本プログラムは参加体験型学習が中心となりますが、関係者のご尽力により適切な感染拡大防止対策を講じて実施をしています。留学生は現地でのさまざまな体験活動を通じて討議を重ね、個々の考察を深めています。



「雨にも負けず風にも負けず」
神戸ワイナリーのブドウ畑での「誘引」作業に取り組む留学生（令和3年6月4日）



留学生へのブドウ畑の作業についての説明、関係者との意見交換会
（令和3年6月4日）

2 GBC 留学生の生活

新型コロナ感染症感染拡大防止と GBC 留学生

令和3年4月中旬に、国際学生寮において無症状の陽性者二人が確認される事案がありました。うち1名は留学生一年次生で、感染対応において支援が必要となりました。本学では寮内のクラスター発生を防ぐため、地元の保健所と情報交換を密に行い、陽性者が療養施設で過ごせるように迅速な手続きを行いました。また、寮内の消毒を実施するとともに、大学が特定した寮生の濃厚接触者数名に関しては、寮内の個室で一定期間の自主隔離をお願いするなど、感染拡大防止対策を講じました。

このような緊急事態において、留学生を含めた寮生全員が住み込み教員の指導のもと、感染拡大防止措置に協力し、適切な動きが取られた結果、寮内のコロナ危機は拡大せずに収束しました。

授業時間

本キャンパスでは緊急事態宣言の発令を受けて、学生の安全を最優先に確保するため、授業の多くがオンラインでの実施となっています。オンライン授業は対面授業と異なる側面が多くありますが、オンライン授業の大きなメリットは、キャンパスまでふだん足を運ぶことのできない著名な研究者などのゲスト教員を招き、オンラインだからこそ学生に貴重な勉強の機会を与えることが可能となっています。

日常生活

本学の国際学生寮 (Global House) に住まうことで、留学生は教育の機会が与えられるだけでなく、寮生同志の異文化交流を通じた友情関係の構築を図り、絆を深めることができます。コロナ禍では学生間のソーシャライゼーションも姿を変えました。それぞれが自分の身、友達の身の安全のため、お互いとの交流をオンラインで行うことが主流となってきています。留学生は様々なアプリを利用し、一緒に勉強したり、映画を見たり、ダンスなどに講じて、思い思いのオンライン活動を活発に行っています。



消費文化論の課題にオンラインでチームワークを発揮している一幕。
幸運をもたらすといわれる妖怪「アマビエ」プロジェクト
(令和3年5月27日)

留学生の地域貢献

地域で活動をしている市民団体の高齢化が進む中、インドネシア出身の留学生一年次生が、大学近隣の市民グループと連携し、高齢者の体に負担がかかる花壇整備の作業をお手伝いしています。留学生は、市民団体との活動を通じて日本語・日本文化の知識を深めながら、地域に貢献しています。市民団体の皆さまからは感謝とねぎらいの言葉をいただきました。



ガーデニングが好きなインドネシア人留学生
地域の市民グループの活動を支援している様子（令和3年6月11日）

3 レジデント・アシスタント（RA）の活動

国際学生寮に住んでいる GBC 2 年次生は、RA として後輩である 1 年次生の勉強や日常生活に対する支援を日々行っています。今年度発生した寮内でのコロナ危機の際には、大学の教職員と協力をしながら、重要な役割を果たしました。危機的な状況下で、情報を提供する努力を続けるとともに、困っている寮生一人一人のニーズに応えるアプローチにより、寮生の悩みをやわらげることに努めました。また自主隔離を余儀なくされた寮生の健康と安心を考え、個人の意向を聞き取りながら新鮮な食品を毎日調達するなど、率先して行動を起こす姿が見られました。



笑顔と明るさが持ち前の RA たち！
管理人さんにも元気を届けます
（令和3年4月）



GBC 教員へのインタビュー。
GBC の広報活動にも積極的に取り組んでいます
（令和3年5月）



4 GBC広報活動

昨年度より制作が行われていた GBC の PV (紹介動画) が、大学の公式 YouTube にアップロードされました。留学生 1 年次生を中心に、全員が世界中から後輩を誘致する「GBC 大使」となり、企画から撮影まで積極的に取り組んだ結果、求心力のある素晴らしい動画が完成しました！GBC 留学生の意気込みをぜひご覧ください。



こちら↓からご覧いただけます



過去の P V、SNS はこちら↓をご覧ください。



国際学生寮紹介 PV

GBC 公式 Instagram

編集後記

このたび、GBC レポートの編集を担当することになりました客員教員のセルビア出身・ニニッチと、シリア出身・ヤヒヤです。

国際学生寮に住み込み、寮生の指導を行いながら、GBC の講義も受け持っています。



ニニッチ



ヤヒヤ

作成：国際学生寮 Global House レジデント・アシスタント (RA) 一同
編集：ニニッチ、ヤヒヤ、国際交流・学生課